

2022 年度

宮城・岩手の被災地を訪ね「減災を考える東北巡見」

募集要項



立命館大学 学生部



★プログラムフィールドは・・・

仙台から太平洋側を北上しながら、被災地を巡る本プログラム。被災地の「今」を自身の目で直接視る機会とし、被災地へ一度も訪れたことがない学生の皆さんの課外自主活動への踏み出しを応援するプログラムです。具体的には東日本大震災から 11 年が経過した宮城県仙台市、名取市、女川町、石巻市、気仙沼市、および岩手県陸前高田市、大船渡市を訪れます。

本学は大船渡市と 2012 年に「災害復興に向けた連携協力に関する協定」を締結し、これまで継続的に復興支援活動を実施してきました。毎年 5 月に実施される「大船渡碁石海岸観光まつり」では、本学学生団体がステージ発表を行うなど、縁の深い地域になっています。

1. プログラム概要

事前学習会（2回）を含む現地実習（3泊4日）にて構成されたプログラムです。

「時間」「空間」「産業」「風土・文化」の4つをキーワードとし、東日本大震災から11年が経過した宮城県、岩手県の被災地（宮城県仙台市、名取市、女川町、石巻市、気仙沼市、および岩手県陸前高田市、大船渡市）を訪れます。

2. プログラムの目的

プログラムという同一体験を通して、自身の考えをアウトプットする機会を創出します。また他者の持つ多様な価値観を受け入れる機会とし、コミュニティ形成の在り方を学ぶ場とします。

プログラム実施場所では、これからの防災・減災の視点を持ちながら被災地を巡り、自身の縁のある土地や現在の住まいでの減災を考え、被災地を直接視ることで、コロナ禍で画像や動画でしか得られない知識であったものを、実際に体験し、経験に基づく知識として昇華、定着させることを目的とします。

本プログラムを通じて、学生生活で自身の興味関心分野を見つけ/広げ、課外自主活動を新規又は継続して行っていけるよう、何事にもチャレンジする姿勢を学ぶ/感じることを期待しています。

3. プログラムスケジュール

本プログラムは①事前学習会+②現地実習にて構成されるプログラムです。プログラムは原則2回目の事前学習会以外の全てを対面で行い、これら全てに参加することが、本プログラムの参加条件となります。※新型コロナウイルスの感染状況に伴い、プログラムを中止すること、また一部プログラム内容をオンラインで実施する可能性があります。

	実施形式	日時	場所
事前学習会（1回目）	対面	7月20日（水）18：00～19：00	朱雀キャンパス内
事前学習会（2回目）	オンライン	8月29日（月）14：00～15：30	Zoom
現地実習	対面	8月31日（水）～9月3日（土）	宮城県・岩手県

<現地実習スケジュール>

(1) 集合解散について ※本プログラムは現地集合・現地解散となります。

自身で往復の交通手段を確保の上、宮城県仙台駅で集合となります。詳細の日時、場所については参加決定者にお知らせします。

(2) 現地での主なスケジュール（案）

活動日	内容
1日目	仙台～名取市震災メモリアル公園～日本三景松島
2日目	旧女川交番～石巻市震災遺構大川小学校～南三陸防災対策庁舎
3日目	東日本大震災遺構・伝承館～大船渡市市民との交流
4日目	東日本大震災津波伝承館（奇跡の一本松）～仙台

※訪問場所は代表的な場所を記載しており、その他の場所にも立ち寄ります。

※訪問場所は新型コロナウイルス感染拡大の状況により、変更になる場合があります。

(3) 活動概要

事前学習会では、地震発生のメカニズムを学び、東日本大震災やその他の地震災害について理解を深めます。

現地実習では、被災地を訪れ、東日本大震災から11年を経過した「今」をオンライン上ではなくリアルで体験します。また大船渡市民との交流により、現地の方の「過去」と「今」をコミュニケーションを通じて学び、プログラム参加者同士での意見交換等を通じ、「文献知」を「経験知」と融合させて定着する臨場感ある知識へと昇華させます。

4. プログラム費用

【参加費】

無料

本プログラムは「立命館大学正課外プログラム助成金」にて、プログラム参加費の一部を補助します。プログラム参加後の実施報告書を提出した後、大学事務局から交通費の一部（10,000円）が補助されます。※無断でのプログラム欠席や締切までに実施報告書が提出されない場合などは、プログラム運営にかかった費用を請求する場合がありますので、ご注意ください。

【参加費用に含まれるもの】

- ・事前学習会の参加費
- ・現地実習前の抗原検査費用
- ・現地実習時の参加費
- ・現地実習時の宿泊費用
- ・現地実習時の保険料

【参加費用に含まれていないもの】

- ・事前学習会（1回目）の交通費
- ・自宅（下宿先）から集合先（解散先）である宮城県仙台駅までの往復交通費

※新型コロナウイルス感染防止対策の観点から、他者との距離が保てる手段（新幹線、航空機等）を使用することを推奨します。

- ・食費など現地にかかる個人の生活費
- ・本学が加入する以上の保険を自身で検討し、保険加入する際の費用

5. コロナ禍における感染予防対策

新型コロナウイルス感染症の感染や感染拡大予防のため、参加者には現地実習前・中には、以下の内容を徹底していただきます。個別事情などで対応が難しいものがある場合はお問い合わせください。

【現地実習 参加前】

- ・移動開始までに所定手続きによる抗原検査を実施
- ・移動7日前から毎朝の検温と体調確認フォームへの回答
- ・移動時に発熱時及び体調不良の場合は活動参加自粛

【現地実習中】

- ・朝の検温と体調確認フォームへの回答
- ・活動時のマスク着用の徹底
- ・手洗いやアルコールジェルなどによる手指消毒の徹底
- ・発熱時及び体調不良時は速やかな報告および活動参加自粛
- ・活動時はソーシャルディスタンスとして2メートル（最低1メートル）の距離を確保
- ・食事については大人数での飲食店利用は避け、飲食時は黙食を徹底する

6. 応募・選考について

(1) 募集期間

2022年6月27日（月）～7月3日（日）23：59（厳守）

(2) 募集人数

10名程度（最低催行人数6名）

(3) 応募資格

- ・本学の正規学部学生であること
- ・学籍状態が「在学」または「留学」であること
- ・（英語基準学部学生の場合）日本語での議論についていける日本語能力を有すること
- ・以下に挙げる「プログラム参加者の義務」を果たすことができること
 - ① 事前・事後学習会への参加
 - ② 成果報告書の提出
 - ③ 本大学から求められた場合は事前および事後のアンケートに回答すること
 - ④ 本大学から求められた場合は成果発表を行うこと
 - ⑤ 本年度停学以上の懲戒を受けていないこと

(4) 出願方法

①下記 URL より必要項目を入力してください。

②自由書式にて本プログラム参加に向けた「自己紹介」シートを作成し、下記 URL に添付ください。

※自由記述のうち、チームで活動する上で自身が心掛けていたり大切にしていることも合わせて記載ください。

<URL>

<https://cw.ritsumei.ac.jp/campusweb/SVA20D0.html?key=SUR20220608130056465366070>

<QR コード>



(5) 選考方法

出願書類に基づき書類選考により採用者を決定します。必要に応じて面接や電話での聞き取りを実施する場合があります。※応募者多数の場合は、コロナ禍で1~2回生時に課外自主活動の機会を失っている上回生の活動機会拡大のため、上回生を優先する場合があります。

(6) 結果通知

2022年7月15日（金）17：00（日本時間）に manaba+R で通知します。

※事前学習会の詳細を採用者に連絡します。

以上